

第5次真鶴町総合計画（案）に対するパブリックコメントの結果について

1 意見募集の概要

題名	第5次真鶴町総合計画（案）
公表の日	令和2年12月4日（金）
意見提出期間	令和2年12月4日（金）から12月30日（水）まで
町民への周知方法	町内公共施設およびホームページ
結果の公表日	令和3年3月1日（月）

2 結果の概要

意見数（提出者数）	6人
インターネット	3人
郵送	0人
直接持参	2人
ファックス	1人
無効な意見提出	0人

3 提出意見の区分

区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、案に反映したもの	4件
B	案に反映しないもの	21件
C	今後の参考やご意見として承るもの	9件
合 計		34件

4 具体的な内容（意見は原文のまま掲載しています。ただし、項目立てや個人名の削除など、提出者の意思に影響しないよう一部修正を加えています。）

No.	ページ	意 見	区分	町の考え方
1	26	<p>【28健康増進】直近の課題の自発的なフレイル予防について</p> <p>フレイルについて各種予防が世の中で提案されているが、これ等を行った時、どれだけの効果があったかを測定することが必要。PDCAに掲げるCの部分がおろそかにされがち。本来ならば、どれだけフレイル症状の人が減少したとか定量的に求める方法も事前に準備検討しておく必要がある。今から20年位前、保健課（名称は変わっている）が生活習慣病予防の為に実施した内容の中にプロジェクトAと云うものがあった。多くの人が参加して盛大にウォーキング教室を行って来た。その後自主活動が20年間続き、今日に至りAフレンドと云う名称で65名の会員が活動を続けている。しかし、生活習慣病についてどれ位の効果があったのか定量的な評価はできていない。</p> <p>→掛け声と共に何かを実施しても、それを後年に検証される事が少ない。パブリックコメントに記載されている多くの課題をなした時、本来の目的がどの様に効果があったかを評価・検証する方法を併せて考えておいた方が良い。</p> <p>→例えば減塩教育の推進にしても教育がどの様にされ、その結果、健康がどのように良くなったかを前後で検証することが必要。</p>	C	<p>現在も運動を継続されていることは事業定着の一つとして嬉しい限りです。基本方針はこのまま推進していきたいと考えます。</p> <p>取り組みの内容につきましては、効果的な方法について検討を行い実施していきます。検証方法につきましても、疾患や脂肪に関するデータを取り寄せながら行っていきます。</p>
2-1	5	<p>【町の将来像】</p> <p>「豊かな海、美しい景観、先人から受け継いできた歴史など、都会にはないものがたくさんあります。」</p> <p>→『歴史』を他の自治体と多い・少ないを比較するのはいかがなものかと思いました。</p> <p>「たくさんあります」と表現されているので、ほかの自治体の歴史が浅いと言われているようにも読み取れました。</p> <p>『真鶴が長年にわたって独自に築き上げてきた歴史がある』『唯一無二の歴史』と主張するのであれば、理解できます。このままだと誤解を生みそうなので指摘させて頂きました。</p>	B	<p>都会にはないもの…豊かな海、美しい景観、先人から受け継いできた歴史もそうですが、「真鶴時間」に表現されている内容も指しています。</p>
2-2	5	<p>【町の将来像】</p> <p>「人々の営みは、昔のまんま。」「昔のまんま」が、『昔からの営みを大切にし、安心して生活できる温かい場所』という価値の表現であれば理解できます。しかし、成長観点で厳格に読むと、町を衰退に導かないか心配になりました。「町の繁栄を支えてきた町並みを彩る本小松石」と、繁栄は過去形の表現しか読み取れなかったからです。</p> <p>P10では、「自立」「活躍」「持続」という大項目がありますので、P5へ上記に関連したキーワードを少しでも混ぜ混むならば、内容が一貫通貫して分かりやすいです。「生産人口の減少を抑制」することが、夢ではなく現実になるためにも検討頂きたいです。</p>	B	<p>こちらは、「真鶴時間」で定めている表記であるため、現段階ではこのまま使用させていただき、見直しの機運が高まった際には検討の参考にさせていただきます。</p>
2-3	8	<p>線路・川や道路（少なくとも県道）が書かれていないとどこがどの地区か正確に読み取れませんでした。</p> <p>→2016年の第4次真鶴町総合計画P11、前回令和2年11月にも同様の指摘をしています。</p> <p>現時点では、諸事情で川や道路の正式な位置が明記できず、「これから精査します」であれば、そのように注意書きとして追記して頂きたいです。</p>	A	<p>地図全体を拡大し国道や県道が入るように調整いたします。</p>
2-4	10	<p>【重点プロジェクト】</p> <p>「自立」「活躍」「持続」の取り組みは有難いです。一方、P5とだいぶトーンが異なるので、どの方向に向かっているのか混乱しました。</p> <p>P10では私たちも含めて「努力しましょう」「頑張りましょう」というスタンスが理解できましたので、P5を改善して頂きたいです。</p> <p>特にP5で記載の「美の基準」は基準自体が設定してからだいぶ時間が経過しており、最新状況を踏まえて修正が必要と考えております。現在のP10の状況「自立」「活躍」「防災」「持続」を踏まえて再検討が必要と考えました。</p> <p>「美の基準」は、「大切にしたい美」と、「成長とともに変える必要がある美」と、分けて考える必要があると考えます。</p>	B	<p>P5では、自然とともに、歴史とともに、そして住民とともに多様性を認め合いながら幸せをつむぎ、住む人も訪れる人も一層幸せを感じられる町を目指すとしています。そのため、P10では、町の存続を目指す「自立」、幸せを感じられるための「活躍」、命を守る「防災」、町民とともに地域をつくる「持続」をこの4年間に重点として取り組むこととしています。</p>

No.	ページ	意見	区分	町の考え方
2-5	6	<p>【将来フレーム】 人口減少を抑制して、生産人口の減少を抑制しながら過疎から脱却することが、真鶴にとって重要な課題と認識しています。国内の移住だけには頼りにできないため、『移民』の受け入れは重要な成功要因と考えます。しかし『移民』が一言も出てこないため心配になりました。真鶴町は「幸せをつくる真鶴時間」でもあるように、移民も優しく受け入れられるコミュニティであると理解していますので、積極的に取り組んで頂きたいです。</p>	B	町への移住者を増加させることは目指しますが、その移住者について日本人、外国人の区別はしておりません。
2-6	19	<p>【13道路整備】 主な取り組みなど 「駅」「渋滞」に関して検索しましたが、何も記載がありませんでした。 町が「駅」「渋滞」に直接かわらなくとも、県やJRを巻き込んで推進するような立場での取り組みがないと、「駅」「渋滞」は町の生活に直結するため、必要な取り組みと考えました。また、「駅」「渋滞」は他の施策…「19 観光業」等にも直接影響してくるため、いずれかの施策の中で必ず検討頂きたいです。P19の道路整備自体は理解できました。</p>	A	真鶴駅前周辺の環境整備は、町の正面玄関、交通渋滞解消及び利用者の安心安全、観光の推進を図る重要事項であることから、「14都市計画・土地利用」の【主な取り組み】において、「真鶴駅周辺地区対策の推進」を位置付けてまいります。
2-7	20	<p>【16農業】 目標指標について No16 新規就農件数 1件/年 は目標として不適切です。 現実的にそれほど増えないのは承知しており、人を増やすのは当然やるべきと理解できますが、1人増えても効果が少ないからです。 真鶴町の漁業では牡蠣の新ブランドが立ち上がっていますので農業も例えば ・ミカンの新ブランド1件企画 ・今までに真鶴で扱っていない『ポポー』を町の産物と定義（ポポーはあくまで例です） のように人を増やす目標（1件/年）よりも需要を増やすための目標を設置したほうが将来性があると考えました。</p>	B	指標の新規就農件数は、新規就農希望者から支援の要望があったことを受け、指標に定め積極的に取り組むべきと判断いたしました。しかし、ご指摘の通り需要を増やす取り組みも今後の農業振興には必要であるため、実施計画に組み込んでいきます。
2-8	31	<p>【37移住・定住対策】 「サテライトオフィス」「シェアリング・エコノミー」は真鶴で何ができるか、さらに深掘したほうが良いと思います。理由は、コロナの影響で、数年前から状況が大きく変わってきているからです。テレワークの利用が増えてきており、サテライトオフィスを利用することなく、家で十分仕事できています。または公民館で鍵付きの個室が利用できれば、テレワークができるので十分かと思われます。「ワーケーション」「リゾートテレワーク」といったキーワードが何もなかったためコメントさせて頂きました。</p>	C	さらなる深掘については、ご指摘の内容も踏まえ、実施計画の中で検討していきます。
2-9	32	<p>【39行政改革】 目標指標について No39 公共施設の統廃合 1施設 1施設統廃合も内容によっては簡単な目標と想像されます。達成時期は4年後であるため、なおさら低い目標のように読み取れました。統廃合すべきものが具体的に何か示した上で、それが重要なものか、時間軸やボリューム含めて判断できれば1施設で妥当と理解できます。達成時期が毎年であれば、チャレンジングな目標であるため理解できます。現時点では件数としては少なすぎるので心配になりました。</p>	B	公共施設の統廃合については決して簡単なものではありません。どんな施設でも様々な方の様々なご意見があるかと思えます。皆様のご理解のうえ進めることを考えると妥当な件数と考えました。
2-10	32	<p>【40広域行政】 目標指標について No40 広域で連携して取り組む追加事業 1件 No39と同じ指摘です。追加事業1件も内容によっては簡単な目標と想像されます。達成時期は4年後であるため、なおさら低い目標のように読み取れました。統廃合すべきものが具体的に何か示した上で、それが重要なものか、時間軸やボリューム含めて判断できれば1事業で妥当と理解できます。達成時期が毎年であれば、チャレンジングな目標であるため理解できます。現時点では件数としては少なすぎるので心配になりました。</p>	B	広域で連携して取り組む事業としては内容によって、方向性が合致すれば出来るものがあるかもしれません。しかし、何件ならば妥当なのかというのも難しいところです。目標については見直しをするタイミングがありますので、その際に検討いたします。
3-1	5	<p>【町の将来像】 「幸せを作る真鶴時間」の上3行目に追加文を挿入 素朴ですが、…散策路が整備され…、ゆったりとした時間の中で、 とする。</p>	B	「幸せをつくる真鶴時間」は中身の文章を含めての構成となっているため、現段階ではできません。今後見直しがあった時に検討していきます。
3-2	13	<p>【11防災・減災】 主な取り組みについて 2重災害への準備と対策（感染症と津波・地震）避難塔の設置 要支援者と支援対象者の明確化（名前で明らかにする）</p>	B	指定避難所におけるコロナウイルス感染症対策は、令和2年度に間仕切りやアルコール消毒等を購入して準備しています。なお、津波対策は、津波ハザードマップを各戸へ配布や町HP掲載などにより災害時の避難の啓発を行っていますが、避難タワーについては、町の地形特性から高台への避難を推奨するところであり、現時点で設置は計画していません。 令和2年度に避難行動要支援者名簿作成のためのシステムを導入して、名簿登載者への同意確認を行っています。名

No.	ページ	意見	区分	町の考え方
				簿の完成後は、名簿に登載されている方の個別支援計画を作成していく予定です。
3-3	14	【3 消防・救急】 主な取り組みについて 火災報知器の普及 火災例の宣伝と統計の公表	B	住宅用の火災警報器は、消防法により2006年から義務化されており、これまでも町HPなどにより普及について広報を行っており今後も周知に努めていきます。 火災予防の啓発活動として、毎年各期（春、秋、年末）に消防団により見回り（警戒・啓発）を行い、広報誌でも開催予防の啓発を今後も実施していきます。
3-4	14	【4 交通安全】 主な取り組みについて 夜間蛍光タスキやバッジの配布 夜間の歩行者認識の工夫	B	交通安全の啓発グッズとして、夜間蛍光のリストバンドなどを配布しています。また、町HPや登録者メールにおいて交通安全の啓発活動を実施していきます。
3-5	15	【5 自然環境】 主な取り組みについて 内袋観音周辺の復興と散策路の整備（審議会での議論の実践が求められる）	B	主な取り組みに記載されている「お林保全方針」に基づく保全・活用、海岸のルールづくりは内袋観音周辺を含めているもので、整備については活用方針が決定した後に検討していきます。
3-6	15	【6 廃棄物処理】 主な取り組みについて 共同ゴミ捨て場の鉄骨化（鉄構造物化）	B	個々のごみステーションは、その地域の方で管理・運営していただいています。町としてどの様に進めていくかは実施計画で検討いたします。
3-7	18	【12公共交通】 主な取り組みについて 地域通貨を利用したボランティアによるライドシェアの実施（小田百にタクシーで来なくていいようにする）	B	地域通貨の利用やドライバーの確保、既存の公共交通事業者との調整などを含め、新しい交通モビリティを含めた地域公共交通の全体見直しを検討していきます。
3-8	19	【13道路整備】 主な取り組みについて 観光用散策路の整備	C	真鶴半島自然公園内の観光用散策路について「お林保全方針」に基づく保全・活用を検討する中で、遊歩道整備も検討をしていきます。
3-9	32	【39行政改革】 マイナンバーカードの発行は町民の多数の需要ではありません。また、合意も取れていません。国の政策への無条件の従属はやめるように願います。	B	国の施策の為お答えはできません。
3-10	全	【全体について】 横文字を使わないでほしい。 PDCA（2, 32頁）は、何を略したのかまったくわからない。注を入れてください。 インクルーシブ 22頁、ICT 教育、3R（リデュース、リユース、リサイクル）15頁、DV 25頁、箱根ジオパーク、サテライトオフィス、シェアリング・エコノミーなど、日本語の貧困を覆い隠しているようではありません。	A	PDCAについては注釈をいれます。しかし、言葉については時代の変化と共に変化していきます。日本語、横文字について認知度や意味が伝わりやすい言葉を使用していきます。
4-1	19	14都市計画・土地利用 グランドデザインによる町の活性化。駅前交通の安全。町へ入る車両と通過する車両の整理、送迎車の駐車場整備、タクシーの逆廻り等、安全性が心配です。	A	真鶴駅前周辺の環境整備は、町の正面玄関、交通渋滞解消及び利用者の安心安全、観光の推進を図る重要事項であることから、「14都市計画・土地利用」の【主な取り組み】において、「真鶴駅周辺地区対策の推進」を位置付けてまいります。
4-2	全	住民の町の総合計画への参加が少ない。30人ぐらいで本当に町の方針が理解されたか。一部の住民しか分からないのに、総合計画の事をこれから10年間進めていくのに広報真鶴しか情報が入らない。住民参加の為に住民アンケート、町政モニター募集、町政説明会を定期的に行って参加者増員をして欲しい。「住民が主役」といっても住民は何も情報も計画も持っていません。国や県の情報を持っている町役場の方々が繰り返し住居に説明し参加しなければ総合計画が進まないのではないかと心配です。	C	ご指摘ありがとうございます。住民参加は今後の本町の大きな課題の一つと捉えています。35広報広聴の基本方針で、「必要な情報を町民に行きわたらせるとともに、町民の声に耳を傾ける」と謳っています。町民とともにまちづくりが進められるよう、工夫を凝らしていきます。

No.	ページ	意見	区分	町の考え方
5-1	22	<p>【19観光業】 観光施設の整備・管理の事 道標をこまかく作って地図を持って歩く観光客が迷わず目的地に着けるようにして欲しい。お林で出た松材を使っても味があって良いと思う。</p>	C	道標、地図等の作成は、ご指摘のとおり観光施設の整備・管理の中で行うものと考えています。具体的には実施計画で検討していきます。
5-2	22	<p>【20学校教育】 生徒が少なくなっているので小学校と中学校を同じ建物にしていく方向にしてもらいたい。難しい事はいろいろあるだろうけど、やる気になって整備していけば可能な事だと思う。給食の事もその方が進めやすいのではないかな。</p>	C	<p>【総合計画（案）】 「20学校教育」「教育振興事業」で反映可。幼小中連携事業については、真鶴町として特に力を入れて実施していきます。令和元年度から「真鶴町学校教育あり方検討会」を立ち上げ、更なる小中一貫教育の推進等についても検討していきます。</p>
5-4	25	<p>【25文化財】 民俗資料館の看板が30年余りたってすっかり劣化して見劣りがする。お林の松材を使ったら立派なものができるのではないかな。(以前伐採した松の木が活用できないかとアイデアを求めていたので)</p>	B	資料館の看板は劣化しているが、それが風合いとなって、資料館の建物や周囲の環境と調和していると考えています。
5-5	30	<p>【36自治・協働】 岩のきくや斎場の前や岩ふれあい館等の桜の木が老化し弱っている。若木の苗を植えて世代交代を考えて行かないと景観が淋しくなる。どこの場所も同じで手入れをして良い景色を維持して欲しい。</p>	B	<p>町が所有し、現に行政的目的を有しており使用中の施設・財産に関しては、それぞれの管理者が目的に応じて植栽等の手入れを実施しており、今後も必要な管理を継続してまいります。</p> <p>きくや斎場前の土地については国・県による管理地であること、岩ふれあい館の敷地については瀧門寺から借用している土地であることから、町としては整備を計画しておりません。</p>
5-6	32	<p>【40広域行政】 広域行政でお願いがあります。ペットの最後の事ですが湯河原町と協力してペットの焼却炉を、ごみ焼却場に作っていただきたいのです。小田原市にもあります。人間のことで大変な時に申し訳ありませんが、ペットに優しい町は移住者や住民にも優しい町になると思います。是非ご一考をお願いいたします。</p>	B	ごみ焼却施設につきましては、湯河原町真鶴町衛生組合に事務委託しておりますので要望してまいります。
6-1	10	<p>【重点プロジェクト】 にぎわいづくりという言葉を用いるにあたって、今一度「にぎわい」とはなんなのか、どのような状態を目指すのかをちゃんと定義し、その定義を明確に示してほしいです。ベッドタウンのにぎわいと、商店街の賑わいと、産業区域のにぎわいは目指すものが違うのではありませんか？例えば5の「情報通信技術を活用するなど、柔軟な発想で新たなにぎわいを創る」とは一体どういうものを目指すのか。ITに詳しくたりや最新の技術に理解がある人でもないのに、ITを活用した柔軟な発想の成果物を生み出せるのでしょうか。その成果物は今までと異なる「新たなにぎわい」を生み出せるのでしょうか。旧来のにぎわいに対して「新たなにぎわい」というものがあるということでしょうか。これが明確でないので、「町のにぎわいは、すべての人に活力を与えてくれます」の一文目からよくわからないものに見えます。</p>	B	ご指摘のとおり「にぎわい」については人それぞれイメージが異なるかもしれません。計画での「にぎわい」は、人が集まることを指しております。まず人が集まる。集まった人がどうなるかが大事だと考えます。
6-2	17	<p>【9上水道】 上水道は安全で良質な水道水の提供とともに、価格をどうにかすることを盛り込まないとならないのではないのでしょうか。チェーンのお店がない。電車の本数も少ないという点は移住者も「知っていて選んだ」と言ってくれるかもしれませんが、水道代が隣の小田原市より3倍高いという点は越してから知るなんてこともあるのではないのでしょうか？ 子育て世代は庭先でビニールプールをすることも憚るレベルの金額の高さです。神奈川県でダントツの一位です。 価格を下げるのが難しいというのは住人としても承知していますが、我々がどうすることもできない公共料金の価格について、一切触れないのは不誠実だと感じます。 価格を下げるとか、維持するとか、上昇幅をできる限り抑えるとか、何かしら言及しても良いのではないのでしょうか？</p>	B	人口減、節水による給水収益の減少に対し、費用は減少せず寧ろ増えていくのが現状です。現行水道料金の維持を目標に今後も経営努力を継続してまいります。
6-3	26	<p>【27人権尊重】 移住者を巻き込んだコミュニティづくりという表現にも「自分たちは昔から住んでる者」の意識が見えます。私の穿った見方というだけならいいですが。「移住者」から「住民」にすぐ移行するような懐の深さを町と先住の町民側が示す姿勢になることを課題とするべきで、何か表現に違和感があります。</p>	B	地域福祉計画を策定した時のアンケート調査や町民への聞き取りに調査において、移住者に対して「旅のもの」という概念があり、そう言った心の醸成を図るという視点も必要であると考えています。移住者という表現方法を再度検討

No.	ページ	意見	区分	町の考え方
				し、町全体でのコミュニティづくりを推進していきます。
6-3	26	<p>【27人権尊重】 ケープ真鶴でブランコのお披露目式に募集した要項で「男女」となっていました。性的少数者への理解の促進というのは「こういう人がいるんですよ」を啓蒙することだけではありません。恋人同士だけど「応募する資格すらない」と当事者たちに見せつける公共がどれだけ残酷か。男でも女とも言い切れない性自認の人にとっては二者択一で選ばされるアンケートがいかに辛い。意識啓発のセミナーを開こうが、最後のアンケートに「性別に丸をつけて」とかやっていると全てが無駄です。基本方針にもう少し掘り下げたものを掲げて良いのでは。</p>	C	性的少数者に対してはこうすべきというようなマニュアルは現在、町にはありません。どのような対応を望んでいるかは一人一人違いますが、各々の性的指向や性自認に基づいて生きるための適切な情報の提供・支援・保護を進めていくとともに関係各所において適正な対応と認識をはかります。
6-4	28	<p>【32児童福祉】 待機児童数のグラフがマイナスの人数ということは、枠が余っているという認識で正しいのでしょうか。それを0にするということは、余っている受け入れ枠を減らしてちょうど0を目指すということですか？</p>	C	枠が余っているという認識で正しいです。しかし、令和2年10月時点において待機児童が発生しております。今後も保育ニーズに応えられるよう施策を推進し、真鶴の全ての子どもたちがそれぞれの教育・保育が受けられるよう努力していきます。
6-5	30	<p>【35広報広聴】 広報広聴の目標指標がHP閲覧数なのは何故でしょうか。例えば各家庭に防災無線スピーカーを配布・販売してその設置台数にするとか、もっと有効な指標があると思います。極端な話、HPのビュー数なら更新ボタン押しまくったり、意味のない増加を全く除外できません。</p>	B	ご指摘のような悪意をもった閲覧も考えられますが、情報化の時代にあって、HPの内容充実を力を入れていきますので、このままの目標とさせていただきます。